

日本植物形態学会第 38 回総会・大会（野田大会）のご案内（第 3 回）

大会会長兼大会実行委員長：松永 幸大（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

大会準備委員長：坂本 卓也（神奈川大学理学部）

大会準備委員：坂本 勇貴（信州大学理学部）、花俣 繁（東京理科大学薬学部）
乾 弥生（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

大会会計委員長：小林 優介（茨城大学理学部、日本植物形態学会会計幹事）

日本植物形態学会会長：高野 博嘉（熊本大学大学院先端科学研究部）

日本植物形態学会庶務幹事：武智 克彰（熊本大学大学院先端科学研究部）

1. 開催日

2026 年 9 月 3 日（木）（受付開始 11:10 より）

2. 会場

東京理科大学 野田キャンパス 7 号館 NRC 教育研究センター

〒278-8510 千葉県野田市山崎 2641（東武アーバンパークライン・運河駅下車・徒歩 8 分）

3. 当日参加について

当日参加も受け付けます。当日に受付（6 階講堂前受付）で参加費等をお支払いください。

・大会参加費（当日受付）

会員：一般 3,000 円、学生 2,000 円 非会員：一般 4,000 円、学生 3,000 円

・懇親会費（当日受付）：一般 5,500 円、学生 3,500 円

※ 日本植物学会第 90 回大会に参加される非日本植物形態学会員の方は、非会員料金ではなく、日本植物形態学会員と同額で参加できます。受付時に、その旨お知らせください。

※ 学会年会費は会場では受け付けられません。支払い履歴の保存のため、年会費は必ず振込でお願いします。

4. プログラム

11:10- 受付開始・開場（7 号館 6 階講堂前）

11:30-12:30 総会（7 号館 6 階講堂）（注 1）

12:40-12:55 授賞式（7 号館 6 階講堂）

学会賞：唐原 一郎 会員（富山大学学術研究部理学系）

平瀬賞：Hirooka, S., Fujiwara, T., Seger, M., Inagaki, S., Yamashita, S., Tsujino, D., Onuma, R., Kanasaki, Y., Watanabe, S., Hirose, Y., Ohbayashi, R., Takusagawa, M., Zhou, B., Tomita, R., Yagisawa, F., Lammers, P., Iwane, A. H., Miyagishima, S. (2026) Sexual life cycle establishes the unicellular red algae *Cyanidiophyceae* as a genetically tractable model for eukaryotic evolution. *The Plant Cell*, Volume 38, Issue 7, koag148

<https://doi.org/10.1093/plcell/koag148gou>

代表受賞者 廣岡 俊亮 会員（国立遺伝学研究所）

13:05-14:05 受賞者講演会（7 号館 6 階講堂）

◎平瀬賞受賞講演（13:05-13:25）

廣岡 俊亮 会員

「有性生殖の解明が切り拓く真核生物進化研究 ―単細胞紅藻イデユコゴメ綱のモデル系統化―」

◎学会賞受賞講演（13:25-14:05）

唐原 一郎 会員

「植物の内部と外部の形態を三次元で見る」

14:15-15:35 ポスターフラッシュトーク^{（注2）}（学生会員 + 一般会員希望者）

40 演題×2分（発表時間は1分）

第1グループ 14:15～14:35

P-002, P-003, P-004, P-005, P-007, P-008, P-009, P-011, P-012, P-013

第2グループ 14:35～14:55

P-014, P-015, P-016, P-017, P-018, P-020, P-021, P-022, P-023, P-026

第3グループ 14:55～15:15

P-027, P-028, P-032, P-033, P-034, P-035, P-036, P-037, P-039, P-040

第4グループ 15:15～15:35

P-042, P-044, P-046, P-047, P-048, P-049, P-052, P-054, P-055, P-057

15:50-17:50 ポスター発表／ポスター賞審査^{（注3）}（2階共創エリア1）

奇数番号ポスター発表時間：15:50-16:50、偶数番号ポスター発表時間：16:50-17:50

17:50-18:00 ポスター撤去、ポスター賞審査会

18:00-18:10 ポスター賞授賞式（2階共創エリア1）

18:30-20:00 懇親会（赤レンガ食堂1階、正門を出て道路を渡る）

注1) 講堂内は飲食禁止ですので、厳守してください。講堂前エリア、共創エリア1は飲食可能となっております。また、7号館1階にはセブンイレブンがあり、飲食のための机や椅子が多数あるエリアになっていきますのでご利用ください。講堂は16時に閉鎖しますので、フラッシュトーク後、忘れ物のないよう荷物をお持ちのうえ、2階共創エリア1にご移動ください。2階共創エリア1奥のラウンジにクローク（15時から18時のみ利用可能）を設けますので、大きな荷物をお持ちの方はご利用ください。なお、ポスターケースや傘などは各自管理をお願い致します。

注2) 事前提出していただいた PowerPoint スライド1～2枚のPDFをスクリーンに連続投影いたします。持ち時間（60秒）以内に口頭発表してください。ご自身の発表時間の5分前になりましたら、発表演台横にお並びください。PDFファイル（A4横向き：3MB以内）1～2枚にまとめて、8月28日（金）17:00までにメール送信タイトルを「植物形態学会フラッシュトーク P-自分のポスター番号」としてe-mailの添付書類にて、大会準備委員（信州大学・坂本 勇貴；yuki_sakamoto@shinshu-u.ac.jp）までお送り下さい。その際、ファイル名は「植物形態学会フラッシュトーク P-自分のポスター番号.pdf」としてください。

注3) ポスター賞の対象は、学生が代表者として発表するポスター限定です。投票権は野田大会に参加している一般参加者のみにあります。ポスター賞の投票は、受付でお渡しするネームカードに記載してある方法（Google forms）に従って行ってください。

※ 大会参加者の皆様は、受付（6階講堂前受付）にて名札をお受け取りください。大会参加費や懇親会費が未納の場合は、受付にてお支払いください。

※ ポスターは横85cm x 縦167cm以内で作成してください（A0：横84.1cm x 縦118.9cmがちょうどよいサイズです）。ポスターの上部には発表者氏名・所属、および表題を明記して下さい。ポスター番号はポスターボードの左上に掲示しますので、ポスター内に印刷する必要はありません。ポスターの貼り付けは12:00から可能です。

[問い合わせ先] 〒277-8562
千葉県柏市柏の葉 5-1-5 東京大学大学院新領域創成科学研究科
日本植物形態学会 第38回大会会長兼大会実行委員長 松永 幸大
Tel: 04-7136-3706 E-mail: sachi@edu.k.u-tokyo.ac.jp

[大会当日連絡先] 日本植物形態学会 第38回大会準備委員長 坂本 卓也
Tel: 090-6016-7791

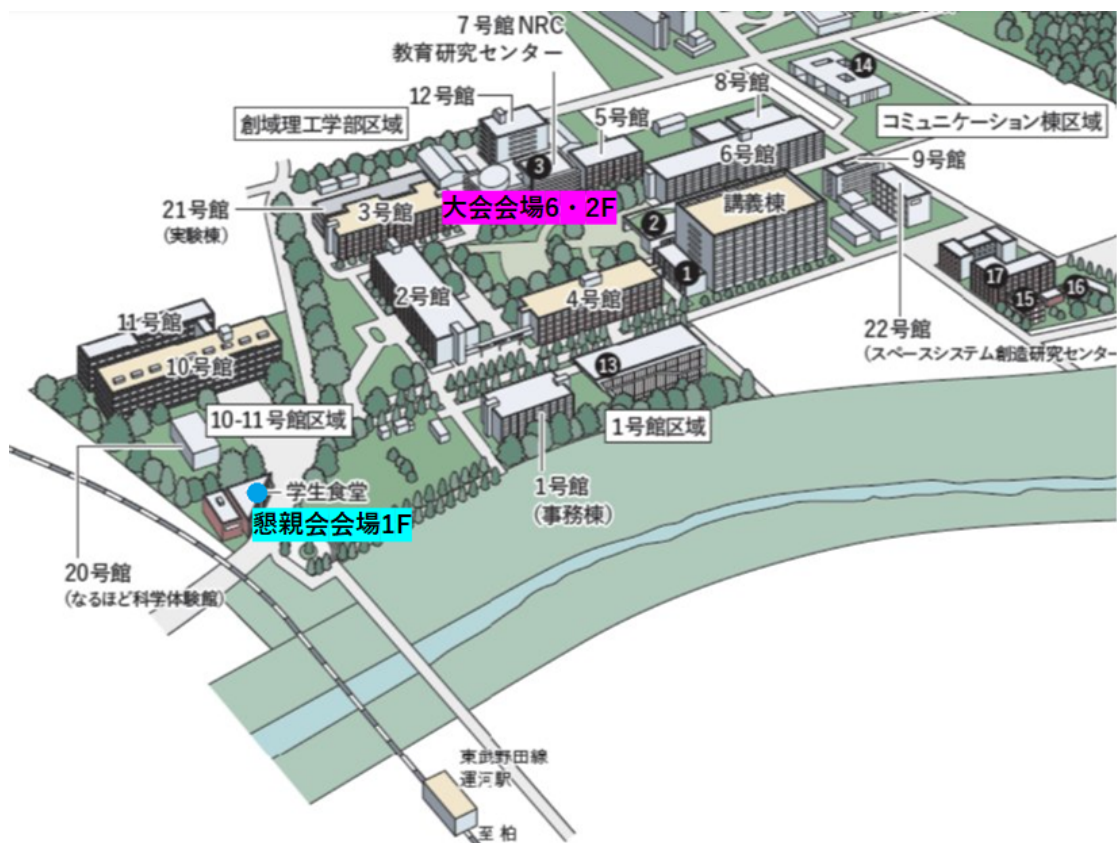
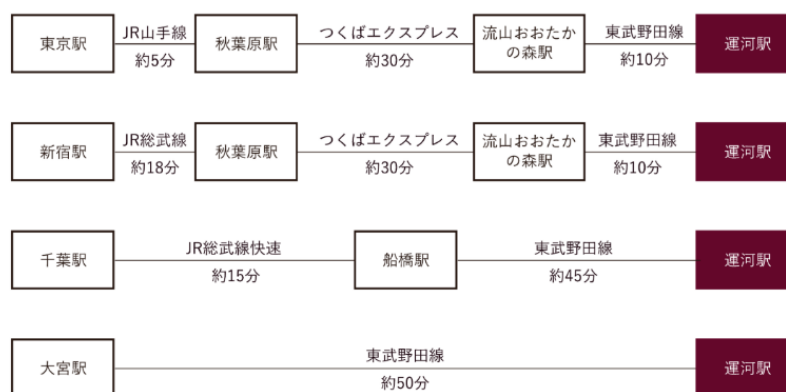
〈参考〉大会会場へのアクセス

アクセス

[野田校舎]

〒278-8510 千葉県野田市山崎2641 TEL.04-7124-1501(代)

■東武野田線(東武アーバンパークライン)「運河」駅下車、徒歩5分



5. ポスター発表プログラム（要旨提出順、発表者は○、学生演者（ポスター賞対象者）は下線）

- P-001 浸透圧ストレス誘導性核内凝集体による ABA 合成制御機構の解析
○佐藤輝^{1,2}、藤本聡³、藤田美紀²、高橋史憲²、三城恵美⁴、篠崎和子^{5,6}、篠崎一雄²、松永幸大^{1,3}
¹東京大・院・新領域、²理研・環境資源科学研究セ、³東理大・理工、⁴名大・ITbM、⁵東大・農学生命科学、⁶東京農大・農生命科学研
- P-002 浸透圧誘導性核内液液相分離に局在する新規タンパク質の単離と機能解析
○久保一空¹、佐藤輝^{1,2}、野澤彰²、野田沙希³、松林嘉克³、松永幸大¹
¹東大・院・新領域、²愛媛大・プロテオサイエンスセンター、³名古屋大・院・理
- P-003 iChIP 法により同定された新規転写制御因子による *NCED3* 発現制御及び塩ストレス応答制御
○栗林朋生¹、佐藤輝^{1,2}、藤本聡³、篠崎一雄²、松永幸大¹
¹東大・院・新領域・先端生命、²理化学研究所・CSRS、³東京理科大・創域理工
- P-004 塩ストレスがシュート形態形成過程に及ぼす影響
○冀恒宇、佐藤輝、上杉日奈保、橋正隆平、松永幸大
東大・院・新領域・先端生命
- P-005 植物器官再生を支えるエピジェネティック・プライミング複合体の機能解析
○半田和華¹、佐藤輝¹、坂本卓也²、松永幸大¹
¹東大・院・新領域、²神奈川大・理・理
- P-006 VLCFA 依存的な細胞層間コミュニケーションはカルスの多能性獲得を促進する
○ドル有生、池内桃子
奈良先端大・バイオ
- P-007 シロイヌナズナにおけるヒストン修飾動態のライブイメージング解析
○大島そら¹、佐藤輝¹、坂本卓也²、松岡慈¹、澁田未央³、伊藤ななみ¹、郷達明⁴、佐藤優子⁵、木村宏⁶、松永幸大¹
¹東京大・院・新領域、²神奈川大・理、³山形大・理、⁴奈良先端大・先端科学技術、⁵静岡大・農、⁶東京科学大・総合研究院
- P-008 シロイヌナズナアクチン脱重合因子によるクロマチン構造制御機構の解析
○中野史弥¹、乾弥生²、伊藤佑³、東晃大⁴、吉原静恵⁴、松永幸大²、稲田のりこ¹
¹大阪公大・院・農、²東大・院・新領域、³阪大・院・理、⁴大阪公大・院・理
- P-009 トマトにおけるアクチン脱重合因子の機能解明
○井上文翔¹、杉本貢一²、長崎英樹³、白澤健太⁴、平川英樹⁵、磯部祥子⁶、青木考¹、稲田のりこ¹
¹大阪公大・院・農、²東京大・生態調和、³テクノプロ・R&D、⁴かずさ DNA 研究所、⁵九大・院・農、⁶東大・院・農
- P-010 DNA ダメージ処理はシロイヌナズナ核内アクチン繊維の観察頻度を増加させる
○松本朋子¹、尾崎敦哉²、檜垣匠¹、松永幸大¹、稲田のりこ²
¹東大・院・新領域、²大阪公大・農
- P-011 シロイヌナズナにおけるセントロメア核内配置に関する遺伝的要因の探索
○矢野賢人¹、朽名夏磨²、佐々木江理子³、坂本卓也¹
¹神奈川大・理、²エルピクセル(株)、³九大・院・理
- P-012 細胞サイズを制御する SCL28 複合体の植物ホルモン・環境ストレスに対する応答解析
○片桐雅季¹、Chen Poyu²、岩川秀和²、西内巧³、伊藤正樹²
¹金沢大・院自然科学・生命理工、²金沢大・理工・生命理工、³金沢大・疾患モデル総合研究センター

- P-013 気孔形成における細胞分裂を制御する転写因子 S0L1 の研究
○屋敷風輝¹、峯田敬斗²、野本友司³、伊藤正樹³
¹金沢大学・院・自然科学・生命理工、²金沢大学・医薬保健・薬、³金沢大学・理工・生命理工
- P-014 Inferring Cell Divisions from Cell Shapes
○Zining Wang¹、Yujie Zhao¹、Hokuto Nakayama¹、Gorou Horiguchi^{2, 3}、Yasuhiro Inoue⁴、Atsushi Mochizuki⁵、Hirokazu Tsukaya¹
¹Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo、²Dept. Life Sci., Coll.Sci., Rikkyo Univ.、³Res. Cent. Life Sci., Coll. Sci., Rikkyo Univ.、⁴Dept. Micro Eng., Kyoto Univ.、⁵Inst. Life Med. Sci., Kyoto Univ.
- P-015 深層学習モデルによるシロイヌナズナ形態・転写情報を用いたオーキシン局在予測モデルの確立に向けて
○程島智大¹、朽名夏磨²、片山なつ¹
¹東大・院・理、²エルピクセル株式会社
- P-016 RUBY を指標としたゲノム編集個体の効率的選抜の試み
○大山拓斗¹、松本歩²、竹田篤史¹、元村一基²
¹立命館大学・院・生命科学、²立命館大・総研
- P-017 ゼニゴケ再生芽におけるオーキシンの空間分布と発生制御
○柚木溪人¹、檜本悟史²
¹北海道大学・院・生命科学、²北海道大学・院・理
- P-018 ゼニゴケ MpGSK3 による幹細胞の制御機構の解析
○長谷部旭、近藤侑貴、古谷朋之
大阪大・院・理
- P-019 ゼニゴケ遺伝的雄における機能的な卵形成の誘導
○久永哲也、Lu Yen-Ting、Cui Yihui、手島史陽、郷達明、中島敬二
奈良先端大・バイオ
- P-020 ヒメツリガネゴケの雌性分化における *FGMYB* 遺伝子の機能
○佐々木明子¹、養老恵美子^{2, 3}、榊原恵子³、郷達明¹、久永哲也¹、中島敬二¹
¹奈良先端大・バイオ、²阪大・院理、³立教大・生命理
- P-021 コケ植物を用いて重力屈性の進化を調べる
○若山健太郎¹、末満寛太¹、柚木溪人¹、藤田知道²、檜本悟史²
¹北大・院・生命科学、²北大・院・理学研究
- P-022 X線μCT および深層学習を用いたヒメツリガネゴケ茎葉体の三次元形態解析
○田端桂介¹、石井琉偉²、八木原直樹¹、千龍海夕¹、山浦遼平¹、玉置大介²、蒲池浩之²、小塚俊明³、山内大輔⁴、峰雪芳宣⁴、星野真人⁵、上杉健太郎⁵、嶋津徹⁶、笠原春夫⁷、鎌田源司⁸、鈴木智美⁹、日渡祐二¹⁰、半場祐子¹¹、久米篤¹²、藤田知道¹³、唐原一郎²
¹富山大・院理工、²富山大・理、³金沢大・理工、⁴兵庫県大・院理、⁵高輝度光科学研究セ、⁶日本宇宙フォーラム、⁷有人宇宙システム、⁸AES、⁹JAXA、¹⁰宮城大・食産、¹¹京工繊大・応用生物、¹²九大・院農、¹³北大・院理
- P-023 ヒメツリガネゴケのペプチドグリカン合成系遺伝子 11 種全ての破壊ラインの作成とそれらの巨大葉緑体形質を用いた相補解析
○丸目紫央¹、Afiya Farjana¹、武智克彰²、高野博嘉²
¹熊本大学・院・自然科学、²熊本大学・院・先端科学
- P-024 ナガサキツノゴケにおける葉緑体分裂阻害が細胞に与える影響
阿部日和、○墨谷暢子
新潟大・理

- P-025 コケ植物の保水機能とパピラの関係性
波多野友博¹、田中杏樹²、○丸尾文乃³、浅井智広²
¹日本電子株式会社、²中央大学・理工、³トヨタ紡織・新領域開拓部
- P-026 シダ植物 *Ceratopteris richardii* の形態形成におけるサイトカニン動態の解析
○花田悠太¹、瓦吹英毅¹、檜本悟史^{2,3}
¹北大・院・生命科学、²北大・理、³JST さきがけ PRESTO
- P-027 Analysis of Gene Expression of Developing Leaves in *Ceratopteris richardii*
○Madeline Prevec、Hokuto Nakayama、Hirokazu Tsukaya
Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo
- P-028 シダ植物におけるスケルトン標本の教材化
○大槻涼
駒澤大学 総合教育
- P-029 ストレプト植物の初期分岐系統に属する新規系統株の確立と進化考察
○山本荷葉子^{1,2}、鈴木重勝^{1,3}、田辺雄彦¹
¹国立環境研・生物多様性、²日本女子大・理、³筑波大・生命環境系
- P-030 単細胞紅藻イデコゴメ綱のモデル系統化に向けた研究基盤の整備
○廣岡俊亮¹、藤原崇之¹、Mark Seger²、稲垣宗一³、山下翔大¹、辻野代¹、大沼亮⁴、兼崎友⁵、渡辺智⁶、広瀬侑⁷、大林龍胆⁸、田草川真理⁹、周柏峰¹、富田麗子¹、八木沢芙美¹⁰、Peter Lammers²、岩根敦子¹¹、宮城島進也¹
¹遺伝研、²アリゾナ州立大、³東大・理、⁴神戸大、⁵群馬大、⁶東農大、⁷豊橋技科大、⁸都立大、⁹東大・農、¹⁰琉球大、¹¹理研
- P-031 紅藻サンゴモ属の節間部形状の種内多様性の定量解析と数理モデル構築
○北沢美帆^{1,2}、サルペル・サフィエ³、堀部和也⁴
¹大阪大学・全学教育、²大阪大学・院・理、³理研 BDR、⁴理研 CBS
- P-032 高温や高 pH に耐性のある微細藻類株の開発
○森田風¹、乾弥生¹、石田萌音¹、竹下毅¹、風間裕介²、阿部知子²、松永幸大¹
¹東大・院・新領域・先端生命、²理研・仁科センター
- P-033 アメーバクロレラ光共生系の環境依存的相互作用の解析
○佐藤歩美^{1,2}、岡田薫^{1,2}、宮城島進也^{1,2}
¹総研大・先端学術・遺伝学、²遺伝研・遺伝形質
- P-034 沈水植物チシマミズハコベの光合成における重炭酸イオン利用の進化
○溝口大樹、古賀皓之、塚谷裕一
東京大学・院・理
- P-035 水生植物にみられる根通気組織の形態多様性とその形成メカニズム
○佐藤友、古賀皓之、塚谷裕一
東大・院・理
- P-036 ゼラニウム卵細胞の巨大ミトコンドリアにおける超微構造学的な膜解析
○津田安咲子¹、高橋綾子²、黒岩晴子²、黒岩常祥²、永田典子^{1,2}
¹日本女子大・院理、²日本女子大・理
- P-037 絶滅危惧種の内部微細構造に迫る断面研磨 SEM 法の開発
○森本千晴¹、津田安咲子^{1,2}、高木智子³、豊岡公德⁴、永田典子^{1,3}
¹日本女子大・院・理、²日立ハイテク、³日本女子大・電顕、⁴理研・CSRS

- P-038 赤色および青色 LED 照射がメロンうどんこ病菌の分生子間細胞構造に及ぼす影響
○鈴木智子^{1,3}、安藤壮真²、山本洸也²、永田典子¹、豊岡公德³、野々村照雄^{2,4}
¹日本女子大・理、²近畿大・農、³理研・CSRS、⁴近畿大・アグリ技術革新研
- P-039 タバコ培養細胞 BY-2 を用いた植物細胞内温度の解析
○井上和¹、芝谷開¹、川村優実¹、丸山裕生²、林晃之³、辻俊一²、稲田のりこ¹
¹大阪公立大・院・農、²キリン HD・キリン中央研、³甲子園大・栄養
- P-040 分裂期のタバコ培養細胞の遠心偏光顕微鏡観察
○榛村愛子¹、山田瑞樹¹、木村暁²、合田真³、越水静²、唐原一郎⁴、玉置大介⁴
¹富山大・院・理工、²遺伝研、³浜松医大・光医学総研、⁴富山大・学術・理
- P-041 タバコ BY-2 細胞のアミロプラスト分化に対する SCI2 遺伝子の役割の解析
齋藤亜海、○宮沢豊
山形大・理
- P-042 シロイヌナズナにおけるイソクエン酸リアーゼ変異体の表現型解析
○廣嶋拓望¹、矢吹悠太郎²、平野貴郎¹、林誠³、林八寿子^{1,2}
¹新潟大学・理、²新潟大学・院・自然科学、³長浜バイオ大学・バイオサイエンス
- P-043 イネ胚乳形成・発達へのオートファジー関与
○花俣繁^{1,2,5}、三ツ井敏明³、野々村賢一⁴、朽津和幸⁵、坂本卓也⁶、内海文彰¹
¹東京理科大・薬・生命創薬、²神奈川大・総研研、³新潟大・社会連携、⁴遺伝研・植物細胞遺伝、⁵東京理科大・創域理工・生命生物、⁶神奈川大・理・理
- P-044 イネの登熟期における籾表皮上の小毛の細胞内微細構造
○濱田菜々子、大井崇生
高知工科大学・理工
- P-045 Three-dimensional analysis of rice mesophyll cells under different nitrogen treatments
○Rachana Ouk、Takao Oi
Sch. Eng. Sci., Kochi Univ. Tech.
- P-046 C₄植物の葉の老化過程における光合成特性の変化について：仕組みと一般性の検討
○西川結香奈、酒井敦
奈良女子大学・院・生物科学
- P-047 ヤマグワ (*Morus australis*) の葉の異形発生に関する形態学的研究
○安住若穂、岩元明敏
神奈川大学・理・生物
- P-048 揮発性モノテルペン類による阻害的他感作用発現過程：標的植物への侵入および侵入後の移動・拡散段階に注目した解析
○松田百永、酒井敦
奈良女子大学・院・生物科学
- P-049 異なる光条件下で生育したシロイヌナズナ *della* 変異体における茎の表現型解析
○畠中洸士郎¹、高橋大輔²、大橋桃花²、横山俊哉³、西谷和彦³、坂本卓也³、浅岡真理子³
¹神奈川大・院・理、²埼玉大・院・理工、³神奈川大・理・理
- P-050 傾斜に伴うポプラ幹の木部形成変化
○竹内美由紀
東京大学・院・工

- P-051 **テンサイ主根の肥大成長を促進するサイトカイニンの役割**
 ○小塚俊明¹、清水佑真¹、朝比奈雅志^{2,3}、黒田洋輔⁴、伊藤正樹¹
¹金沢大学・理工、²帝京大学・理工、³帝京大学・先端機器分析センター、⁴農研機構・北農研
- P-052 **トレニアにおける *XND1* ホモログの発現上昇は花弁をフリル状に変化させる**
 ○黛隆宏¹、井上琴葉²、石井公太郎³、畑下昌範⁴、高城啓一⁴、小嶋美紀子⁵、竹林裕美子⁵、
 榊原均^{5,6}、鈴木悠太⁷、鹿島誠⁷、白澤健太⁸、東山哲也⁹、阿部知子¹⁰、風間裕介^{1,2,10}
¹福井県大・院・生物資源、²福井県大・生物資源、³量研機構・放医研、⁴若エネ研・生物資源、
⁵理研・CSRS、⁶名大院・生命農学、⁷東邦大・理学部、⁸かずさDNA研究所、⁹東京大・理・生物
 科学、¹⁰理研・仁科センター
- P-053 **ポインセチアのブラクトの色調変化に伴うメタボローム解析と花成促進代謝産物の同定**
 ○多部田弘光^{1,2}、小山采子³、佐藤心郎²、平井優美²、Ferjani Ali³
¹神戸大学・院・農学、²理研 CSRS、³学芸大・教育・生命
- P-054 **トレニア蜜標欠損変異体 *nectar guideless1* の形態的特徴と訪花昆虫への影響**
 ○小川馨乃子¹、黛隆宏¹、小越咲子²、篠山治恵¹、畑下昌範³、高城啓一³、阿部知子⁴、風間
 裕介^{1,4}
¹福井県大・院・生物資源、²福井高専・未来社会デザイン・情報、³若エネ研・生物資源、⁴理
 研・仁科センター
- P-055 **蚊を誘引する花の構造～新しい送粉シンドロームの可能性～**
 ○熊谷緋沙子
 千代田区立神田一橋中学校
- P-056 **シロイヌナズナのステロール過剰蓄積変異体花粉は花粉壁の異常と稔性低下を示す**
 ○小林啓子¹、高木智子¹、秋田佳恵^{1,2}、鈴木優志³、島田貴士⁴、永田典子¹
¹日本女子大・理、²日大・生物資源、³大妻女子大・社会情報、⁴千葉大・院・園芸
- P-057 **雌雄異株植物ヒロハノマンテマの茎頂メリステムに雌雄差はあるか**
 ○小林壮生¹、前北航輔²、風間裕介^{1,2,3}
¹福井県大・院・生物資源、²福井県大・生物資源、³理研・仁科センター

6. 大会参加申し込み状況（50 音順：8/15 時点、111 名）下線は懇親会事前申込者 59 名

朝比奈 雅志、安住 若穂、伊藤 大貴、伊藤 正樹、井上 文翔、井上 和、岩根 敦子、岩元 明敏、鵜
 飼 咲希、内田 英伸、大井 崇生、大島 そら、大槻 涼、大山 拓斗、岡部 耀二、小川 馨乃子、垣内
 美羽、風間 裕介、片桐 雅季、加藤 優太、唐原 一郎、河野 重行、瓦吹 英毅、神田 愛美香、岸田
 直子、北沢 美帆、久保 一空、熊谷 緋沙子、栗林 朋生、小泉 悠莉、小崎 康裕、小塚 俊明、小林
 啓子、小林 壮生、小林 優介、後藤 友美、坂本 卓也、坂本 勇貴、佐々木 明子、佐藤 歩美、佐藤
 友、佐藤 輝、佐藤 繭子、島津 舜治、Baifeng Zhou、白子 健登、冀 恒宇、鈴木 智子、墨谷 暢子、
 高野 博嘉、竹内 美由紀、武智 克彰、田中 寛大、田端 桂介、多部田 弘光、玉置 大介、塚谷 裕
 一、津田 安咲子、豊岡 公德、ドル 有生、中村 駿志、中山 北斗、永田 典子、西川 結香奈、西村
 芳樹、野崎 久義、長谷部 旭、畠中 洸士郎、波多野 友博、花田 悠太、花俣 繁、棕村 愛子、濱田
 菜々子、林 八寿子、半田 和華、東山 哲也、久永 哲也、平川 健、廣岡 俊亮、廣嶋 拓望、古谷 朋
 之、Prevec Madeline、程島 智大、前田 笑花、松田 百永、松永 幸大、松本 朋子、黛 隆宏、丸尾
 文乃、丸目 紫央、溝口 大樹、宮城島 進也、宮沢 豊、宮下 貴文、元村 一基、森田 凪、森本 千
 晴、守屋 健太、屋敷 風輝、安原 裕紀、矢野 賢人、山下 翔太、山下 裕生、山路 希華、山本 荷葉
 子、柚木 溪人、湯本 原樹、Rachana OUK、李 逸朗、若山 健太郎、王 子寧

7. 日本植物学会第 90 回大会における共催シンポジウム

日本植物学会第 90 回大会において、日本植物形態学会が共催するシンポジウム 1 件が 9 月 5 日に以下のように開催されます。こちらにも奮ってご参加ください。

◎日本植物形態学会共催シンポジウム

新たな生物種が生まれるときに何が起こるか？

2026/9/5（土）09:00～11:30 Z 会場

オーガナイザー：松永 幸大（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

水多 陽子（奈良先端技術大学院）

新たな生物種が生まれるときに何が起こるのであるだろうか？細胞形態，捕虫葉形成，ゲノムのハイブリッド化，ゲノムの倍数化，染色体編成，受精，細胞内共生など，様々な生物現象に取り組む研究者が一堂に会し，種の誕生時に起こり得るメカニズムの共通性と多様性について講演を行う。

9:00-9:25 2aSZ01 動植物ハイブリッドゲノムを創ると起こること

松永 幸大（東大・院・新領域・先端生命）

9:25-9:50 2aSZ02 食虫植物が生まれるとき

福島 健児（国立遺伝学研究所）

9:50-10:15 2aSZ03 異質倍数化が引き起こしたイネ属の新種形成と表現型進化

佐藤 豊（国立遺伝学研究所）

10:15-10:40 2aSZ04 遠縁のイネ配偶子を融合させると起こること

岡本 龍史（東京都立大・院・理）

10:40-11:05 2aSZ05 被子植物の繁栄を支える花粉の発生と分化のメカニズム

水多 陽子（奈良先端大・院・バイオ）

11:05-11:30 2aSZ06 新規遺伝子の創出による細胞の形態機能の革新

吉田 大和（東京大・院・理・生物科学）

8. その他

特許出願予定の内容を含む発表をされる場合は、予め特許庁に所定の手続きをお取り下さい。